

既設基礎のシートパイル補強工法

基礎・土構造研究室

- ◆ 鋼矢板と既設フーチングを一体化させ基礎の耐震性を向上させる工法です。
- ◆ 地盤改良が不要で、経済性だけでなく狭隘箇所での施工性に優れています。
- ◆ 先端加工鋼矢板との併用により、液状化地盤中でも補強効果が期待できます。

□ 概要 既設杭基礎を囲むようにシートパイル(鋼矢板)を打設し、シートパイルと既設フーチングを一体化させて、杭基礎の耐震性向上を図る工法です。主に都市部の狭隘箇所において採用されています(図1～図2)。

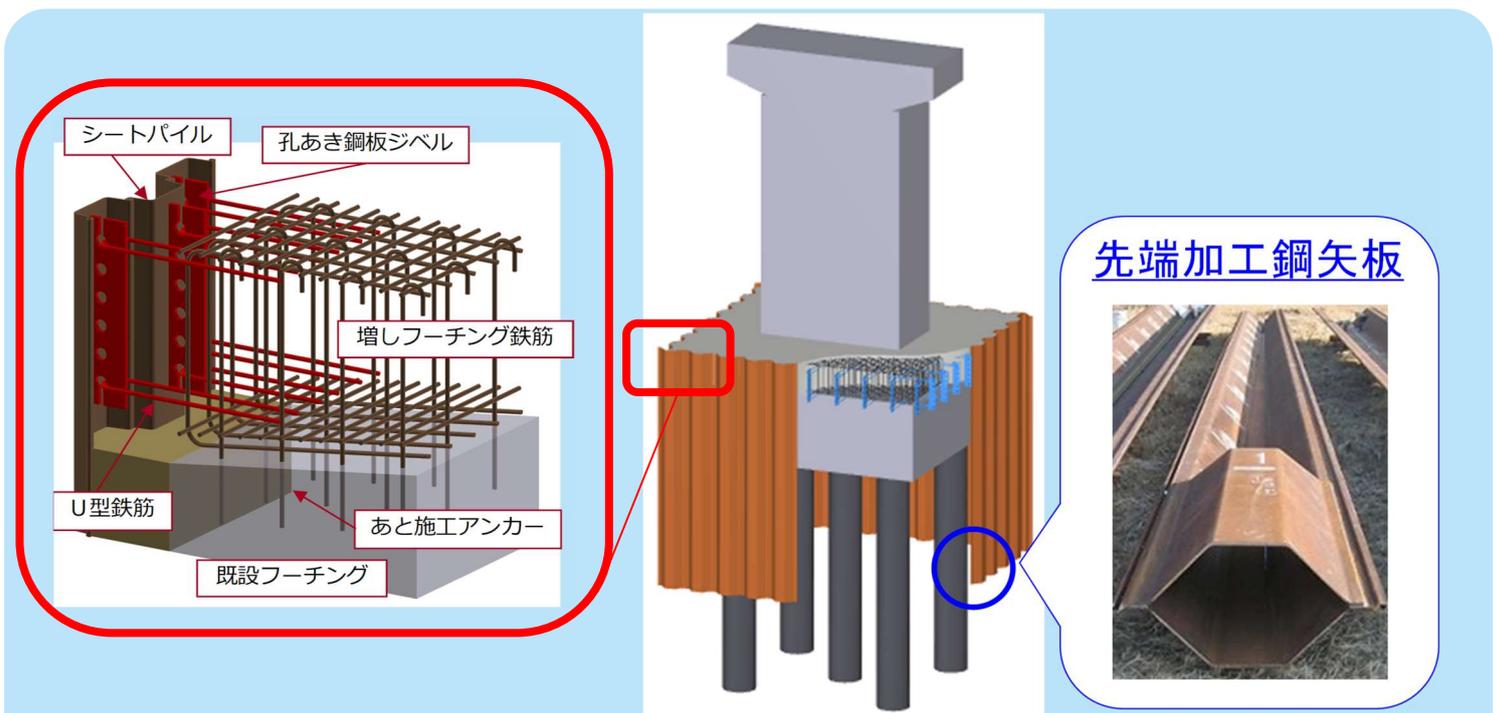


図1 シートパイル補強工法の概要



図2 シートパイル補強の例

※本工法は、株式会社大林組、新日鐵住金株式会社(現 日本製鉄株式会社)と共同で開発したものです。

※問合せ先: 日本製鉄株式会社 建材事業部 建材開発技術部 土木建材技術室

TEL: 03-6867-6861